**令和５年度　鳥屋小学校　学力向上ロードマップ**

**総括チーム（管理職・各部リーダー）・学校としての目標を立て，具体的に指示**

**する**

Ｒ５年４月１日

学力調査等による現状把握

**Ｐ・Ａ　研究推進委員会**

＜学力向上に向けた提案＞

・学力調査・各種調査に基づいた

学力向上プラン（改善プラン）の提案

（学力向上・授業研究の両面で）

**Ｃ　調査・評価部会**

・目標に基づいた学力調査等の集計・分析

・課題の明確化・原因究明

　**検証**

・取組の検証

**研修支援**

・校内研修計画

**Ｄ　授業研究部会**

・授業研究の推進

・指導力向上の取組

**Ｄ　学びの基礎部会**

・学習規律

・基礎基本・活用力向上

・家庭学習・家庭との連携

|  |
| --- |
| **鳥屋小学校　めざすゴール** |
|  | 学力向上プラン | 指導力向上 |
| 令和４年度長期目標 | **対話を通して自分の考えをよりよいものにしようとしている児童　アンケートで肯定的評価７０％　以上** |
| 中期目標１学期① | ○単元テスト「思・判・表」の正答率，８０％以上をめざす。→国：84.7点　算：79.9点 | 〇課題に対して，意欲的に対話している児童児童アンケートで肯定的解答　６０％→８６％ | 〇児童の発話量５割　　　　　　　発話量チェック平均　６割 |
| 2学期② | ○単元テスト「思・判・表」の正答率，８５％以上をめざす。→国：86.6点　算：78.4点 | 〇課題に対して，意欲的に対話している児童児童アンケートで肯定的解答　７０％→89％ | 〇児童の発話量７割　　　　　　　発話量チェック平均　６割 |
| 3学期③ | ○単元テスト「思・判・表」の正答率，８５％以上をめざす。 | 〇課題に対して，意欲的に対話している児童児童アンケートで肯定的解答　８０％ | 〇児童の発話量７割 |
| 短期目標 | 目標達成のための月毎の取組８０％以上をめざす。 |

【ロードマップ】

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **月** | **学力向上****関係****行事等** |  **総　括****◎学校長**教　頭 | **Ｃ　調査・評価部会　研修支援**　　　　　◎教務主任（小坂）　低（加藤）中（高柴・中谷）高（岩田・古田） | **Ｐ・Ａ　研究推進委員会**◎研究主任・学力向上担当（　松中　）評価調査部会（　小坂　）授業研究部会（　清水　）学びの基礎部会(　高岡　) | **Ｄ　授業研究部会**◎（　低：清水　）級外（池本・加賀）中（山崎）高（今井・松中） | **Ｄ　学びの基礎部会**◎（ 低：高岡 ）　　低（池島）　　中（村田）　　高（小林・田畑） | **全員** |
| **集計・分析****（岩田）** | **検証****（高柴）** | **研修支援****（小坂）** | **授業研究・学びの基礎****（清水・高岡）** | **授業研究・指導力向上****（清水）** | **学習規律****（山森・村田）** | **学習基盤****（小林・田畑）** |
| ４ | R４年度　県評価問題分析結果△国語：目的や意図に応じて複数の資料から情報を読み取り，まとめる力。複数の条件を意識して，文章を書く力。△算数：式や言葉，図形を構成する要素などに着目して答えを求めたり，求め方を説明したりする力。　　　　根拠を明らかにして，判断した理由を説明する力。 | 学校目標長期・１学期①の設定 |  |  | 若手研提案・日常的ＯＪＴ・定期的ＯＪＴOJT学級経営について授業を支える指導技術Ｐ | 校内研修全体会(校内研究組織確認等)研究授業計画作成研究だより発行（各月）**学力向上ロードマップ提案** | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認①学習で使用するノートの書き方提示児童の相互参観と教師のふらっと参観の計画**前期学力向上プラン****授業で≪活発な対話で学びを深める≫****・対話を生むための学習課題　　　・児童の発話量の確保****・教師の補助発問と温かい言葉がけ****帯タイムで****★活用力・書く力を育てるために「活用問題」の取り組み****★互いを認め合うためにコミュニケーションスキルトレーニング（ナカノトーク）** | 学習規律の掲示集会でモデル提示①学習規律の進捗状況把握① | 帯タイムの提案・推進①「話し方名人・聞き方名人」の提案・掲示物準備 | **前期学力向上共通実践　研究授業（年間一人一回以上）** |
| ５ | 研究主任連絡協議会県基礎学力調査実施5/26全国学力調査実施5/27 |  | 県基礎学力調査5/26・全国学力調査5/27採点集計データ処理・分析課題発見原因究明質問紙調査（弱点項目5年)児童・教員アンケート① | ★児童アンケート★教師アンケート | OJT支援を要する児童の見取りと対応授業づくり等**課題克服に向けた方針の決定，具体的数値目標の設定** | Ｄ | 校内研修全体会（提案授業３年　道徳）授業研究だより発行（毎研究授業後）思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認②児童の相互参観と教師のふらっと参観の推進・実施①ブロック研修（教材研究） | 学習規律の掲示集会でモデル提示② | 帯タイムの実施・推進②「話し方名人・聞き方名人」の実施・推進① |
| ６ |  |  |  |  | OJT授業づくり（研究授業相談会・模擬授業）通知表について |  | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認③学校訪問A（研究授業　５年　道徳） |  | 帯タイムの実施・推進③「話し方名人・聞き方名人」の実施確認② |
| ７ | 県基礎学力調査結果公表 |  | 県：データ処理・分析・課題発見・　原因究明児童・教員アンケート② | ★単元テスト結果到達度★児童アンケート★教師アンケート | OJTQUの活用について合宿を想定した企画・運営・指導 | Ｃ | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認④校内研修全体（研究授業　１年　道徳）（研究授業　特学　道徳）ブロック研修（教材研究） |  | 帯タイムの実施・推進④「話し方名人・聞き方名人」の実施確認③ |
|  |  |  |  |  |  |  |  | ★1学期のふり返り（各ブロック・全体） |  |
| ８ | 国学力調査結果公表 |  | 国：データ処理・分析・課題発見・原因究明 | 前期学力向上プラン成果・検証 | OJT危機管理等総合の授業づくり・評価 |  |  |  | 　**前期プランの検証の概略****授業思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業づくり**（取り組み①）学習課題の設定　意識調査の肯定的評価：児童８６％　教師９５％〇課題があることで，何を考えていけばよいか分かる。（児童）▲課題に対して，自分の考えを書けない。（児童・教師）（取り組み②）多様な考えを生むための言語活動（対話）意識調査の肯定的評価：児童８６％　教師９０％〇相手の意見を聞くことで，分かることがある（児童）▲否定されると思うと，たくさん話すことができない。（児童）（取り組み③）対話の活性化を図るために，補助発問や教師の温かい言葉がけを大切にする。意識調査の肯定的評価：児童８８％　教師１００％▲児童の評価と教師の評価に１２％のずれがある。**後期学力向上共通実践　研究授業（年間一人一回以上）** |  |
| ９ |  | 学校目標長期・２学期②の確認 |  |  | OJTＡ授業づくり（深める場について）いじめ・不登校の未然防止・早期解決 | 連携校との指導案交流実施連携校の研究発表会参加他校への研究発表会参加促進 | 　　　**後期学力向上プラン提案**授業・課題や補助発問を事前に研究するための時間の確保。・児童７割の対話量を確保する。・対話の質の向上を目指す。・対話のイメージの共有（教師・児童）対話を生む言葉の共有 | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認⑤（カレンダーの　　記入）Ｄ授業改善の継続校内研修全体（研究授業　１年　道徳）ブロック研修児童の相互参観と教師のふらっと参観の推進・実施② | 学習規律集会でモデル提示②学習規律の進捗状況把握② | 帯タイムの実施・推進⑤「話し方名人・聞き方名人」の実施確認④ |
| 10 | 学力向上フォーラムいしかわ道徳教育推進事業研究発表会 |  | 児童・教員アンケート③ | ★児童アンケート★教師アンケート | OJT学級経営について | 評価問題対策提案 | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認⑥校内研修全体いしかわ道徳教育推進事業研究発表会（研究授業　２年・３年・５年　道徳）ビデオ撮影（研究授業　６年　道徳） |  | 帯タイムの実施・推進⑥「話し方名人・聞き方名人」の実施確認⑥ |
| 11 |  |  |  |  | OJT気になる児童への対応アンガ―マネジメント |  | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認⑦校内研修全体（研究授業　４年　　道徳）（研究授業　特学　　道徳）ブロック研修 |  | 帯タイムの実施・推進⑦「話し方名人・聞き方名人」の実施確認⑧ |
| 12 | 県評価問題Ⅰ(5年生) |  | テスト採点・集計・課題発見・原因究明県評価問題分析結果△国語：相手意識をもって話したり聞いたりする。　　　　段落相互の関係を捉えて，考えとそれを支える理由や事例などを踏まえて読む。　　　　文章を読んで理解したことについて感想や考えをもつ。△算数：長方形・正三角形・箱の形などの定義，円や円周の性質。　　　　長さやかさの単位と測定，時間の単位・時刻や時間を求めること　　　　二次元表の読み取り，表やグラフの読み取り | ★後期学力向上プラン成果検証学力調査・活用問題テスト（２～４・６年）★単元テスト結果到達度★児童アンケート★教師アンケート★質問紙調査（５年生） | OJT情報モラル・情報セキュリティー**後期プランの検証の概略**（取り組み①）学習課題の設定　意識調査の肯定的評価：児童８９％　教師１００％〇課題から考えをもって話し合いに参加できた。（児童）▲課題に対して，自分の考えを書けない。（児童）〇対話を生むための学習課題の設定は有効であった。（教師）（取り組み②）多様な考えを生むための言語活動（対話）意識調査の肯定的評価：児童92％　教師94％〇友達の意見を聞くと，自分の意見の参考になるから。（児童）▲否定されると思うと，たくさん話すことができない。（児童）▲児童の発話量を確保することが，多様な考えを生むことに直接つながってはいない。（教師）（取り組み③）補助発問や教師の温かい言葉がけを大切にする。意識調査の肯定的評価：児童８4％　教師１００％　▲児童の評価と教師の評価にずれがあり，補助発問についていけない児童がいる。Ａ | Ｃ | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認⑧ブロック研修 |  | 帯タイムの実施・帯タイムの実施・推進⑧活用力向上チャレンジタイム（３・５年）「話し方名人・聞き方名人」の実施確認⑨ |
| ★２学期の振り返り（各部会・校内研修全体会） |
| １ | 第２回中能登町テスト |  | テストの採点・集計・課題発見・原因究明 |  | OJT指導要録の記載の仕方 | **短期学力向上プラン**授業（取り組み①と③）・他教科でも実施する。・他教科でのブロック研とモニタリングの実施。（取り組み②）・対話の形態を児童に選択させる。Ｄ | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認⑨授業改善の実施校内研修全体会（今年度のまとめ） | 学習規律集会でモデル提示③学習規律の進捗状況把握③ | 帯タイムの実施・帯タイムの実施・推進⑨活用力向上チャレンジタイム（３・５年）「話し方名人・聞き方名人」の実施確認⑩ |  |
| ２ | 県評価問題Ⅰ結果提供 |  | テスト採点・集計・課題発見・原因究明変容の検討児童・教員アンケート⑤ | 学校目標達成度の検証★児童アンケート★教師アンケート | OJT学校評価の汎用について | 校内研修全体会(次年度主題等の確認)研究授業計画作成Ｃ**学力向上の取組の****総括** | 思いや考えを認め合い，学びを深めるために対話を意識した授業確認⑩校内研修全体会（次年度に向けての提案） |  | 帯タイムの実施・帯タイムの実施・推進⑩「話し方名人・聞き方名人」の実施確認⑪活用力向上チャレンジタイム（３・５年） |
| 今年度の振り返り（★各部会・★校内研修全体会） |
| 3 |  | 次年度学校目標の方向性 |  | 単元テスト到達度 | １年間の振り返りと次年度に向けてＡ | 年度末課題の提案 | **次年度学力向上プラン****研究の方向性の提示** | 校内研修全体会（次年度の主題等の確認） |  |  |  |

**短期学力向上共通実践**